

平成 21 年度・平成 22 年度  
～ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業実施団体  
好事例集～  
【⑥国際エステティック事業協同組合  
(エステティシャン)】

○モデル事業導入にあたって

ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業の導入にあたっては当組合が運営するエステティックスクール（職業訓練校）を活用し、エステティック業界へ就職希望する若者が実践的な職業訓練に取り組み、企業は若者の人材確保と現場の中核的存在となる知識と技術を兼ねそろえた職業人を確保する。その様な仕組みを確立したいという目的のもとに導入を決定しました。

○企業におけるメリット

- ・ 中核的存在となる若者を育成できる。
- ・ 体系だった育成プログラムによる実践的な人材育成が出来る。
- ・ 訓練生同士が横のつながりを築き、業界の情報交換が出来る。
- ・ キャリア形成促進助成金の活用が可能のため、従業員教育指導経費の軽減が出来る。
- ・ 訓練受講生が訓練受講に満足を示し、仕事への誇りと喜びを感じられることが企業へのメリットになる。

○モデル事業実施（訓練実施）における好事例

- ・ 小テストなどを実施することにより各々の弱点を的確に知ることが出来て、それに合った指導を的確に行えた。
- ・ 生理学・栄養学・解剖学等のような専門的知識はなかなか独学では知りえることが難しい。しかし、皆で勉強することが楽しく学ぶことにつながり、知識の吸収率が上がった。
- ・ 同じ業界で働く、同じ経験値の者同士で学ぶことにより、自分自身の技術のレベルなどを客観的に見ることが出来た。
- ・ 自己評価や企業評価をすることにより、今後の指導・改善点を見出すことが出来た。
- ・ OJTにおける指導を実施することにより、訓練受講生だけでなく指導者にも刺激となって大変効果的であった。

○これから取り組む企業の方へ

企業における将来の中核的存在となる職業人は知識・技術を兼ね揃えておかねばならない。そんな職業人を育成するためには費用も時間もかかるもの。

そのことを考えると実践型人材養成システムを活用しながら助成支援を国から受けられるのはまさに画期的だと思います。社員教育をするからこそ社員のレベルが上がるのであり、社員のレベルが上がるからこそ企業自体のレベルが上がるということを理解して、エステティックという業界の地位向上を皆で力を合わせながら図って頂きたいと願います。